



小中連携について

本校の小中連携教育は、「子どもと保護者が共に肯定感をもって多様な視点から『生きる』ことを捉え、子どもが自らの生き方を意思決定する力を育む」ことをめざしています。この力を身に付けた子どもの姿を、自律、尊重、創造に分け、以下の具体として共有しています。

《めざす子ども像》

自律：人生の主体者として、進路を含めた自分の生き方を自分で選択しようとすることができる。

尊重：自分の進路も仲間の進路も、一人ひとりの大切な選択であると考えられることができる。

創造：自分はどんな人になりたいのか、どんな生き方をしたいのかを多様な視点で考えることができる。

これらの子ども像を具現化するために、日々の教育活動の中で様々な支援を行っています。しかしながら、上記の進路選択・決定を含む自らの生き方について意思決定する力を、子ども達に身に付けさせるためには、日々の教育活動で教員が子ども達に対して支援を行うだけでは、不十分だと考えております。なぜなら、進路に関しては、主に、子どもと保護者の皆様が話し合って選択・決定すべき内容であるため、保護者の皆様の子ども達への関わりが、自らの生き方を意思決定する力を育むことができるか否かに大きな影響を与えていると考えているからです。そこで、学校から、以下の「めざす保護者像」を共有させていただいております。

《めざす保護者像》

自律：子どもの人生は子どものものであることを理解し、子どもが自分の人生に責任をもつことができるように支えようとする。

尊重：我が子の進路選択についても学年の他の子どもの進路選択についても、一人ひとりの思いに寄り添い、共感的に理解しようとする。

創造：子どもが多様な視点から人生や生き方を捉えるためにはどのような経験が必要となるのかを考え、そのような経験ができる機会を保障しようとする。

本校の6年生は、全員が進路選択を行う必要があります。この進路選択を行う上で、子ども達に対して、二つの壁が立ちちはだかります。一つ目は、「自身の主体的な進路選択」、二つ目は、「他者の進路選択への尊重」です。

一つ目の「自身の主体的な進路選択」の壁は、自分はどんな人になりたいのか、どんな生き方をしたいのかという大きな問いを解決し、多様な情報をもとに、保護者の方に相談しながら、進路選択する必要があるということです。6年生という学齢で、この壁を乗り越えるための重要なポイントは、多様な情報を得るということです。例えば、進路選択を行う高学年のときに、どのような小学校生活を送るとよいのか、どのような考えをもっていると、どのような成長が望めるのかといった情報を知ることが大切です。そのために、本校では、附小を卒業した大学生に講話をしてもらうという取組を行っています。また、中学校によって、特色は違います。その特色を知るために、各ご家庭で中学校について情報収集する必要があると考えます。学校側としては、神戸大学附属中等教育学校の兎原祭への自由参加日を設定したり、KPプログラムの優秀者発表の動画視聴の機会を設定したりすることで、情報収集する機会を提供しています。

二つ目の「他者の進路選択への尊重」の壁は、まわりにいる友達を抱えている進路選択に関する悩みについて、配慮しあう必要があるということです。例えば、1月中旬頃の6年生の教室は、進路が決まっている児童と決まっていない児童が混在します。その後、学年の中に、徐々に進路が決まった子ども達が増えていきます。さらに、決まった子ども達の中には、希望が叶った子どももいれば、一番の希望とは異なるところに進学する子どももいます。そのような場面で、「まわりにいる友達は、どんな気持ちを抱えているだろうか?」「どんなことを不安に思っているだろうか?」「どんなことを辛いと思っている

だろうか？」と想像してみることが必要です。ここでの配慮が不足していると、何気ない言葉で、まわりにいる友達を傷つけてしまうかもしれません。だからこそ、子ども達には、他者に配慮しながら進路に関わる話をしたり、他者に配慮するからこそ、塾の話を含む進路に関わる話はしないようにしたりと、自分の言動についてよく考えることができるようになってほしいと考えています。

このように他者への配慮が必要な場面というのは、進路選択に関わる場面に限ったことではありません。進路選択以外の内容に対しても他者への配慮が必要な場面はたくさんあります。また、小学生の間だけではなく、長い人生を送る中で、他者への配慮が必要な場面に直面し続けるはずで、ここまで述べました小中連携の進路選択に関わる教育を、人生を送る中で大変重要な他者への配慮ができるという力を育むための価値ある機会として捉えております。

上記のような学校の取組を進めると同時に、保護者の皆様におかれましては、自分の子どもを含む全ての子ども達意思決定に対して尊重する気持ちをもつことを大切にしていきたいと考えています。子ども達、学校側、保護者の皆様の三者で、附小の子ども達に自らの生き方を意思決定する力を身に付けさせ、二つの壁を乗り越えることができるような学校教育活動を実現させていきましょう。

<8月の行事予定>

日	曜	8月の行事予定	9月の主な行事予定
1	金		1 日 (月) 給食開始
2	土		2 日 (火) クラブ活動①
3	日		3 日 (水) 5年宿泊説明会
4	月		12 日 (金) なかよし班遠足
5	火		弁当日
6	水		16 日 (火) クラブ活動②
7	木		17 日 (水) なかよし班遠足予備日
8	金		弁当日
9	土		19 日 (金) 教育実習終了
10	日		24 日 (水) 国際交流受け入れ
11	月	山の日	保護者アンケート配布
12	火		25 日 (木) 授業参観
13	水		30 日 (火) クラブ活動③
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土		
24	日		
25	月	40分授業開始 12:00 下校	
26	火	教育実習開始 12:00 下校	
27	水	12:00 下校	
28	木	12:00 下校	
29	金	12:00 下校 6年宿泊活動説明会	
30	土		
31	日		